

中京大学英米文化・文学会 秋季大会特別講演会

「階層的動詞句構造と外項の意味解釈について」

南山大学人文学部教授 青柳宏氏

中京大学英米文化・文学会は、大学院国際英語研究科英米文化学専攻との共催で、2018年12月14日午後4時より名古屋キャンパス5号館571教室にて、南山大学人文学部教授青柳宏氏を招いての秋季大会特別講演会を開催した。本講演会には、本学の教員、院生、および南山大学の院生が参加した。

「階層的動詞句構造と外項の意味解釈について」との演題のもと、青柳氏は、主に日本語の統語構造に関する最新の研究成果を披露。氏は、Pykkänen (2008) などで提案されている2種類 (high and low) の applicative (動詞適用形)を採用した上で、日本語ではさらに動作主を導入する VoiceP より高い位置に higher applicative が存在するという提案を行い、それにより、日韓語の間接受動文の違いと受益文の有無が統一的に説明できると論じた。その後の質疑応答も含め、最新の研究動向を知る上で有意義な講演会となった。

(中京大学国際英語学部国際英語学科教授 足立公也)